

流通改善に 大きな一歩を

(一社)日本医薬品卸売業連合会副会長

河野博行



本日はたいへんお忙しい中、多数の方に本セミナーにご出席いただき、まことにありがとうございます。また、平素は卸連合会の運営にたいへんご協力をいただき、重ねて御礼申し上げます。

今年度のセミナーのテーマは「医療をめぐる環境変化と流通問題」を取り上げました。本日は4名の方々にご講演をお願いしております。

比較的最近のできごととしまして、9月初めに流通改善懇談会によって、緊急提言以降の大きな環境の変化を踏まえ、将来を見据えた流通改善の方向性を示した、いわゆる「新提言」がとりまとめられました。

続いて、9月4日に、医薬品卸業や流通改善がこれまで以上に重要な位置づけとして盛り込まれた「医薬品産業強化総合戦略」が厚生労働省から公表されました。

さらに、9月30日には、卸連合会を代表しまして鈴木会長が中医協薬価専門部会において、次期薬価制度改革に関連し、新提言や総合戦略で示された流通改善の方向性を踏まえつつ「単品単価取引の推進」、「後発医薬品の急激な拡大への対応」、「市場環境が急激に変化する中での流通機能の維持・継続」に関して要望を申し述べております。それと、2017年度の消費税引き上げ時の対応について、消費税引き上げに伴い薬価を改定するか否かの問題と、毎年改定の議論は切り離して議論すべきである。並びに消費税引き上げに伴う薬価改定については、未妥結減算制度への対応と薬価調査の時期が重なり、たいへん労力が強いられることや、薬

価改定後半年では市場実勢価格の把握には限界があるとして実施しない方が望ましいとの意見を表明させていただいています。

これらの新提言や総合戦略は、卸の流通改善に向けての大きな一歩を踏み出すために歓迎すべきことではありますが、2007年9月に出されました緊急提言についても全てに達成できているわけではありません。

今後、新提言に盛り込まれた流通改善を実現するためには、皆様方が全力を挙げて取り組んでいただくことが重要となりますので、よろしくお願いいたします。

最後に、本日のセミナーが医薬品業界関係者にとり、たいへん有益な内容であることをお伝えし、開会の挨拶とさせていただきます。

会場を埋め尽くした聴講者

